

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》 佐々木祐二 山根裕司

【概要】

様々なスポーツ外傷、障害の発生機序と病態について概説するとともに、代表的なスポーツ傷害に対する理学療法の実際について学習する。また、傷害予防・再発予防の見地からスポーツ現場で行われているメディカルチェック、コンディショニング、テーピング等の手法の実際を理解する。

【学習目標】

スポーツ傷害に対する理学療法についての基礎知識を理解し技術を習得するために、スポーツ外傷、障害の発生機序と病態、その理学療法および傷害予防について学び、代表的なスポーツ傷害に対する理学療法について説明と実践ができる。

1. スポーツ傷害について説明できる。
2. スポーツ傷害の発生機序について理解する。
3. スポーツ傷害における評価と理学療法について説明できる。
4. スポーツ傷害における評価と理学療法について実践できる。
5. テーピングの技術を習得する。

【学習内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学習課題 | 担当者 |
|----|--------------|------------------------|---------------|
| 1 | 総論 | オリエンテーション、スポーツ傷害の理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 2 | 腰部のスポーツ傷害 | 腰部のスポーツ傷害理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 3 | 股関節のスポーツ傷害 | 股関節のスポーツ傷害理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 4 | 膝関節のスポーツ傷害 | 膝関節のスポーツ傷害理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 5 | 膝関節のスポーツ傷害 | 膝関節のスポーツ傷害理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 6 | 足関節のスポーツ傷害 | 足関節のスポーツ傷害理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 7 | 足関節のスポーツ傷害 | 足関節のスポーツ傷害理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 8 | 肩関節のスポーツ傷害 | 肩関節のスポーツ傷害理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 9 | 肘・手関節のスポーツ傷害 | 肘・手関節のスポーツ傷害理学療法 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 10 | スポーツ傷害の応急処置 | スポーツ傷害の応急処置 | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 11 | コンディショニング | スポーツ選手に対するコンディショニング | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 12 | 予防とメディカルチェック | スポーツ傷害の予防とメディカルチェック | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 13 | 予防とメディカルチェック | スポーツ傷害の予防とメディカルチェック | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 14 | テーピング | テーピングの概要、テーピングの実際（足関節） | 佐々木祐二 山根裕司 |
| 15 | テーピング | テーピングの実際（足関節） | 佐々木祐二 山根裕司 |

【評価方法】

定期試験 100%

【備考】

教科書：山下敏彦 他 監修 「スポーツ傷害のリハビリテーション 第2版 Science and Practice」金原出版 2017年

参考書：片寄正樹 他 編集 「機能診断とその技法 スポーツ理学療法プラクティス」 文光堂 2017年
片寄正樹 他 編集 「急性期治療とその技法 スポーツ理学療法プラクティス」 文光堂 2017年
内山英司 他 監修 「スポーツ外傷・障害に対する術後リハビリテーション 改訂版」 運動と医学の出版社 2013年
小関博久 編集 「外来整形外科のためのスポーツ外傷・障害の理学療法」 医歯薬出版株式会社 2014年
臨床スポーツ医学編集委員会 「臨時増刊号 スポーツ障害理学療法ガイド」 文光堂 2014年

その他：服装はTシャツやハーフパンツ等の四肢を露出しやすいものを準備する。

【学習の準備】

講義に該当する部位の機能解剖を事前に予習して講義に臨むこと（80分）。

教科書・配布資料をもとに復習を行うこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）医学の進歩によって救命ができるようになり、また平均余命も伸びてきました。これからは、健康を損なっている人、病气やけがで心身に障がいを持っている人たちが地域でその人らしい生活を営めるように、保健・医療・福祉の各分野で活躍する専門職種が連携しあって、地域全体で支援していくことが重要です。その視点を持って理学療法の専門的な知識と技術を適切に提供できる能力を身につけます。

（DP4）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

佐々木祐二（理学療法士）

山根裕司（理学療法士、（公財）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関やスポーツ現場での実務経験を活かし、スポーツ傷害についての概要や、スポーツ選手に対するアスレティックリハビリテーションの内容、コンディショニングの実践方法について講義する。